

令和6年度 島本町立第二小学校 学校経営方針

島本町立第二小学校
校長 佐々木 淳平

理念「全ての子どもの学習権を保障する（憲法第26条）」

1 学校教育目標

「全ての子どもが安心して学び、自分らしく育つ学校を創る」

2 めざす子ども像

「自ら考え判断し、行動できる子ども（自律）」
「違いを理解し、対話を通して課題解決できる子ども（尊重）」
「豊かな発想を持ち、創意工夫できる子ども（創造）」

3 全ての子どもが自分らしく育つために必要な3つの力

- (1) 「自分の考えをつくる力（自己表現力）」
- (2) 「チャレンジする力（課題探究力）」
- (3) 「人を大切にする力（社会参画力）」

- ・ 「子どもを育てる学校」から「子どもが育つ学校」づくりを進める。
- ・ 人は違って当たり前。人と違うことを大切にする。
- ・ 対立やトラブルが起きた時、最上位の目標である学校教育目標や必要な3つの力に立ち返って考えるスキル（対話の方法）を身につけ、やり直しができる。
- ・ 10年後の社会で生きて働く学力を言語化した3つの力は、他者が評価できるものではなく、全て自己評価になる。

4 子どもの自律を促すための教職員の関わり

- ・ 自律するために何が必要か、他者を尊重するためにどんな学びが必要か、創造するために教職員はどんな関わりが必要かを考える。
- ・ 全ての教育活動において、3つの力を上位目標に置き取組む。
- ・ 困っている子どもと、その周りの子どもを対等につなぐ。
- ・ 一人の子どもの命を守るため、目の前の困っている子どもが前向きになるために、教職員が人の力を活用する。
- ・ 子どもが自分たちでトラブルを解決できるよう、対話の方法を教え、支援する。
- ・ 子どもが自己決定できるよう支援する。

5 学校組織づくり

- ・ 子ども、教職員、保護者、地域の方々が当事者として、自分の学校を自分で創る。
- ・ 個人の内発的な信念や希望に根差した生き方や学校（社会）の在り方を求める自由を大切にする。
- ・ 困っている子どもが、困らないようにするために、チーム対応し、気付いたら瞬時に困り感を共有する職員室を創る。
- ・ 教職員が、自分から、自分らしく、自分の言葉で対話できる職員室を創る。
- ・ 3C（整理・整頓・清掃）で仕事の環境を整える。
- ・ 非常変災時等の危機管理体制の確立と情報伝達ルートの明確化を図る。

6 地域に根付いた学校を創る

- ・ 教職員、保護者、地域の方々に、子どもを360度から見守れる学校、地域社会を創る。
- ・ 地域は「土」、教職員は「風」として、土が自分の学校を耕し続ければ、どんな風が吹いても学校は根を張る。
- ・ 保護者にとって学校が居心地の良い場所、何でも相談できる場所、子どもと共に学ぶ場所となるようにする。

令和6年度島本町立第二小学校経営ビジョン

学校教育目標

「全ての子どもが安心して学び、自分らしく育つ学校を創る」

めざす子ども像

「自ら考え、判断し行動できる子ども（自律）」

「違いを理解し、自他を尊重できる子ども（尊重）」

「豊かな発想を持ち、創意工夫できる子ども（創造）」

全ての子どもが自分らしく育つために必要な3つの力

(1) 「人を大切にする力（社会参画力）」

(2) 「自分の考えをつくる力（自己表現力）」

(3) 「チャレンジする力（課題探究力）」

学校教育目標で
合意する **対話**

児童・教職員・保護者

対話

による解決をめざす

手段・決定の
ための **対話**

目標を実現するための手段

- ・ 目標を実現するために、全ての教職員が当事者になる
- ・ 目標実現のために児童・教職員・保護者と対話を重ね、手段を決定
- ・ 手段を目的化しない